

準決勝進出4校	試合数	得点	失点	打数	安打	安打			打率	犠打	盗塁	失策
						二塁打	三塁打	本塁打				
八工大一	3	27	5	86	33	5	0	0	.383	12	6	4
聖愛	3	26	8	89	32	8	2	2	.359	12	13	1
青森山田	3	32	1	82	33	7	4	0	.402	8	17	1
八学光星	3	33	9	88	36	9	1	5	.409	4	4	1

第105回全国高校野球選手権青森大会は第9日の25日、弘前市のはるか夢球場で準決勝2試合を行う。第1試合は春の県王者・八工大一と、2年ぶりの甲子園出場を狙う弘前学院聖愛が激突。第2試合は、長く本県高校野球界をけん引してきた青森山田と八学光星がしのぎを削る。4強の顔ぶれは昨夏、今春の県大会と同じで、特に春とは対戦カードも同一。戦いを展望する。（本田海輝）

## 4強きょう準決勝

### 打線破壊力抜群

青森山田、八学光星両校とも、3戦全線で2桁安打2桁得点を記録し、チーム打率は4割を超える。春はまさかのゴールド負けを喫した青森山田が意地を見せるか、八学光星が再び制するか。長年のライバル校が火花を散らす。

青森山田は公立校が固まったブロックを全てコールドで勝ち上がった。ここまでは全試合2年生の関が先発しているが、最速147km/hの直球を誇る主戦三浦が起用される可能性もある。失点は4強で最も少ない1と堅守が際立つ。守備からリス

### 山田高 × 光星

春の東北王者・八学光星は今年も打線の破壊力が抜群。中澤恒、長谷、池田、藤原が計5本の本塁打を放つなど、3試合で4強最多の36安打をマークしている。この夏から1番に固定されている砂子田は9打数7安打、出塁率は8割超と好調だ。主戦岡本は8回を投げ8失点と乱調で、どこまで調子を上げられるかが鍵。洗平や越智からも実力は十分だ。

### 失点4強中最少

### 打線破壊力抜群